

あいネット 就労準備支援室より

就労準備支援室からは、就労についての情報や講座、ボランティア等のご報告をお届け致します。

講座 ▶ ちょいスポ

気象大学までのウォーキング

毎月実施している講座の一つ、ちょいスポでウォーキングを行っています。近隣の公園、神社、湧き水地などに行っています。

今回は、教育福祉会館から気象大学まで30分の行程です。雲が垂れ込める中、雨が降って来やしないかと恐々と出発しました。旭町交番を經由して、目的地へ。校舎の裏手にはイチョウの紅葉が美しく、参加者一同感嘆のため息が飛び交いました。同じ敷地に建っているサッカーボールを模したものが乗った塔は、雲の状態を調べるものだそうです。天気予報のデータとなるそうです。



一球会の活動から

一球会は、手賀沼の土手沿いに、冬に咲くニホンスイセンや秋に咲くヒガンバナを植える活動をして4年が経ちます。引きこもりの方々やコミュニケーションが苦手な方々などが参加し、就労へと巣立っていきます。

本日は、ニホンスイセンをプランターに移し替える作業をしました。球根が密集しているため、球根を傷つけないように注意しながら、参加の

利用者さんたちが慎重に掘り起こしました。花が咲いているものを移し替えるので、株分けが出来ません。花が咲き終わったら、株分けをする予定です。

手賀沼の土手沿いに植えたニホンスイセンも、ちらほらと咲き始めています。開花時期は1月ですが、日当たりの良い場所では咲き始めています。是非、手賀沼にお越しください。



就労準備支援室ではボランティア活動の他、お茶会など利用者さんがコミュニケーションをとる練習ができる環境や就労支援を提供しております。今後も利用者さんの就労自立をサポートしてまいります。

「じんけん」ぽん

2021.12/No.179

じんけんぽん2021年度第2号

発行日 2021/12/15

社会福祉法人 生活クラブ
風の村 柏市地域生活支援センター あいネット

〒277-0005
千葉県柏市柏5-8-12
教育福祉会館1階
電話: 04-7165-8707
E-mail:
ainet@kazenomura.jp

目次

中核地域生活支援センター大会報	1
要保護児童対策地域協議会実務者会議・講演会報告/フードドライブ報告	2
自立相談支援事業従事者養成研修報告/自立支援協議会報告	3
就労準備支援事業より	4

子どもの頃は、サンタさんからプレゼントの楽しみに過ごしたことを思い出します。大人になって、きれいな夜空を見上げてサンタさんを応援しています。
1年間のお出立に感謝して。



●中核地域生活支援センター大会in2021

2021年10月に千葉県教育会館において、「中核地域生活支援センター大会 in 2021」が開催されました。今回のタイトルは「つながり続けること」から見てきたことです。2020年の活動実績や事例報告、「つながり続けること」の意味のディスカッションなどが行われました。

まずは「中核地域生活支援センター活動白書2020」から相談支援活動分析調査の報告があり、新型コロナウイルス感染症の流行により、今までの相談支援のスタイルを変更せざるを得ない状況が数字からも読み取れました。

相談の対応内容が「傾聴、話し相手」が前年より8.5ポイント少ない一方で「公的貸付制度の申請支援」が3.1ポイント、「住まいに関する支援」が2.3ポイント増えていたところから、現実的な生活問題への対応に追われた状況がうかがわれます。

相談内容	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	件数	%	件数	%	件数	%
経済的困窮	736	24.2	639	21.1	866	27.4
介護・支援サービスに関する支援	753	24.8	715	23.6	794	25.1
介護・子育て・障がいの相談窓口等の紹介	490	16.1	474	15.6	586	18.5
住まいに関する支援	466	15.3	486	16.0	580	18.3
医療に関する支援	551	18.1	490	16.2	609	19.3
病気や疾病、治療に関する説明・情報提供	351	11.5	354	11.7	430	13.6
家族関係の調整	419	13.8	351	11.6	431	13.6
傾聴・話し相手	1118	36.8	1222	40.3	1004	31.8

「中核地域生活支援センター活動白書2020」より

「つながり続ける」ことの一例として、高齢者と障がい者が最期まで一緒に生活する施設「ひぐらし荘」や3歳～18歳までの子どもが育ちあう児童養護施設「小山ホーム」での支援が紹介されました。高齢、身体・精神障がい、疾病などの制度の狭間や金銭、就労、地域、家族、人間関係など複合的な課題に対しての関わりが挙げられ、問題解決は必ずしもその目的ではないという今回のテーマの結論のひとつになりました。



★2021年12月15日～2022年2月14日限定で大会の様子をYou Tubeにて公開します！

中核地域生活支援センター大会

検索



●要保護児童対策地域協議会実務者会議・講演会

児童虐待防止推進月間のなか、要保護児童対策地域協議会・講演会が11/18に開催されました。ヤングケアラーの実態調査の発表がありました。柏市内で把握している件数はまだ氷山の一角ということで、啓発活動を通して地域の方にも意識を持っていただくことが必要とお話でした。

支援機関には「柏市児童虐待マニュアル」のチェックシートを積極的に活用していただき、各機関が関わっているケースを今一度確認し、潜在化しているヤングケアラーのケースを把握する必要があるというお話もありました。ヤングケアラーは「要支援児童」にあたることで、通告と情報提供は保護者の同意がなくても可能とのことでした。

講演会では、医療法人聖峰会 岡田病院院長の岡田剛医師がご登壇され、「医師からみた虐待の子どもへの影響と地域との連携の重要性」というテーマでお話をされました。

「アタッチメント（愛着）」や「ボンディング（絆）」のお話、ADHD等の発達障害児のお話、関係機関との連携のお話などがありました。

たくさんのお話のなかでとくに印象的だったのが、アタッチメント障害の共通条件の一つで「主たる養育者の頻回な変更」というお話です。主たる養育者は支援機関も当てはまるとのこと。組織に所属していると異動の可能性は多かれ少なかれあり、児童以外のケース対応でも通底していると思います。本人と支援者の信頼関係の築き方、継続の在り方が課題に思いました。



●フードドライブ



民生委員の皆さまのご協力にも感謝です*



たくさんいただきました!



ありがとうございます^^

★あいネットでは常時食料品の寄付受付を行っています。

- ・賞味期限が2ヶ月以上ある
- ・常温で保存が可能
- ・未開封
- ・破損で中身が出ていない
- ・お米は前年度産までのもの

もしご家庭で余っている食品がありましたらお持ちください。詳しくはあいネットまでお問い合わせください。

2021年11月6日(土)に松葉近隣センターにて、11月13日(土)・14日(日)にラコルタ柏フェスティバルにて、フードドライブが行われました。米、インスタント食品、レトルト食品、缶詰、調味料、飲み物、お菓子など合計で約195kgのご寄付をいただきました。当日ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

★フードドライブとは、ご家庭で余っている食品などを寄付募集する運動のことであり、集めた食品を福祉施設や団体、困窮する世帯、個人等に無償で提供する活動をフードバンク活動といいます。

●令和3年度 自立相談支援事業従事者養成研修

厚生労働省の委託事業として、社会福祉法人全国社会福祉協議会が行っている、生活困窮者自立支援制度の自立相談支援事業従事者養成研修ですが、コロナ禍ということもあり今年度は、9月27日～12月3日まで、ZOOM形式で開催されました。生活困窮者自立支援事業を行っている、全国の相談員が500人以上参加をしました。

この研修では、制度の概要と目標・基本理念の振り返りや相談員に求められる理念と基本姿勢というような基礎的な知識と、制度の概要やギャンブル依存症やヤングケアラーの理解と相談支援の視点というような応用的な知識を学ぶことが出来ました。



POINT! 研修の中で、同志社大学社会学部社会福祉学科教授である空閑浩人氏が相談員の役割と個別支援の基本の講義をする中で、『その人の思いや事情を尊重することが、尊厳を守る支援の展開に繋がる』と話されていたことがとても印象的でした。日々相談支援をしていくなかで、ご本人の思いや事情を汲むことが疎かになってしまわないよう、いつでもご本人の言葉や思いに耳を傾けられるような支援員でありたいと思います。

●第2回柏市自立支援協議会

第2回柏市自立支援協議会が開催されました。

今回の全体会では、新委員の紹介から始まり、

- ①ノーマライゼーションかしわプラン2021の実績・評価（令和3年度上半期分）について
- ②共同生活援助（日中サービス支援型）の指定について
- ③各部会報告・相談支援部会、暮らし部会、はたらく部会、こども部会、柏市障害者差解消支援地域協議会・柏市権利擁護ネットワーク会議における障害者に関する専門部会、柏市障害児等医療的ケア支援連絡会、柏市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進会議、柏市地域生活支援拠点運営協議会より
- ④次期プラン策定のための基礎調査について
- ⑤青和園の民営化について
- ⑥当事者団体からのコロナワクチン接種について

等がありました。

✓今回は①について、内容を抜粋し記述します。

施策1「包括的相談支援体制の構築」は重点項目になっています。現在あいネットが担っている、「福祉の総合相談窓口の設置」の主な事業としては、教育福祉会館のリニューアルに伴う総合相談支援事業、包括的支援体制の構築事業です。

…従来の枠組みでは支援が届かない障害者等を支援するため、各専門機関と行政の窓口が連携した「福祉の総合相談窓口」を設置し、包括的な相談支援体制を推進。

結果の評価・課題としては、窓口ではこどもから高齢者まで幅広い属性から、多岐に渡る相談を受付。今後は総合相談窓口としてのコーディネート能力向上に加え、各専門相談支援機関の特徴をいかした包括的支援体制の構築を図るとなっています。

市役所近くに移転したことで、市役所各部署と連携しやすくなり、市民の方も来所しやすくなっていると感じます。今後も、会議体や実際のケース対応を通して、支援の質の向上、連携強化に励んでいきたいと思いました。

※ノーマライゼーションかしわプランは、障害者基本法によって市町村に策定が義務付けられている障害者基本計画と、障害者自立支援法によって市町村に策定が義務付けられている障害福祉サービスの目標値や見込量を示した障害福祉計画を一体的に策定したものです。